福剣連 居合道だより

第 067 号　平成 24 年 2 月 1 日発行
発行　（社）福岡県剣道連盟居合部
http://iai.riai.info/
発行人　迫野　康雄
〒807-0842　北九州市八幡西区永犬丸東町 3-16-13
Tel:093-612-1512
編集人　上田　武尚
〒800-0201 北九州市小倉南区上吉田 2-2-16
Tel:093-473-7323

はじめに

居合の残心とは敵を斬撃の後敵に心を残して、その次の来襲に備えて直ちに抑圧しうるように姿勢、態度、構えをくずさずに元の位置に戻って、次の業をはじめるまで、敵に心を残すこととある。**「刃風一過して余韻尚」**

居合道修業の信条は**「居合とは己が心に勝つばかり人の非をみて人にさからうな」**と言う言葉どおり戦わずして勝ちを制する（鞘の内）と教えている。

茶道では、茶席が終わって茶道具を手から離すときは、恋しい人と別れることと同じだから、精一杯の心をこめよと言われています。一事が終わったあとの、知恵に満ちた心構え「残心」の教えでしょう。

では実生活ではどうでしょうか。たとえば親しい人を家に招いて食事をする。相手の人がいとまを告げて帰途につく際、別れの挨拶をして送り出したら、すぐに踵を返してしまうなんてことはありませんか。そうではなくて、相手の姿が見えなくなるまで、その場に立ってお送りする。つつがなくひとつのことを終えてなお、心配りを忘れない。お互いの心の中に暖かい余韻を残す。これも残心ではないでしょうか。

主な出来事

1/22　初稽古会　　福岡武道館

毎年の行事でもある初稽古会が、福岡武道館で開催された。今年は寒に入り例年にない寒さを感じているが小雨の降る中、居合道剣士 133 名が集まった。開会式の後、昨年の昇段者（6・7 段）及び錬士・教士合格者に証書が授与された。十分な準備運動の後、小田先生、國方先生の指揮のもと二つのｸﾞﾙｰﾌﾟに分かれ合同練習を行った。後、少年の部より段ごとに自由 5 本の技を皆の前で披露し、今年初めての稽古会を盛会の内に終了した。

初稽古会スナップ

1･2･3 月の予定

3/20(火)　第 14 回全国居合道七段選手権大会
第 38 回北九州居合道大会　　北九州市立総合体育館

3/25(日)　福岡県居合道審査会（級・初～5 段）
高段者稽古会　　かすやドーム